

平成29年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区採択検討会
会議録

日時： 平成29年7月11日（火） 15:25～16:07

場所： 大井町役場 3階 303・304会議室

事務局（大井町教育委員会教育総務課長）

それでは皆様、お暑い中ありがとうございます。定刻少し前ではございますが、御出席予定の皆様お揃いですので、これより平成29年度神奈川県教科用図書足柄上採択地区採択検討会を始めさせていただきます。

開会に先立ちまして、6点ほど事務局の方から事務連絡をさせていただきます。

初めに、本日の会議は会議録作成のため、録音させていただきますことを御了承ください。また、本日は、検討会委員の方々以外に各教育委員会事務局より担当者が出席させていただきますので、併せて御了承ください。

2点目に、本日の旅費についてですが、協議会の方から各教育委員会をとおして改めてお渡しいたしますので、御承知おきくださるようお願いいたします。

3点目に、本日の会議の会長と副会長についてです。お手元にお配りしてある資料の中に「神奈川県教科用図書足柄上採択地区採択検討会規約」というものがございます。本日の会議につきましても、こちらの規約に基づき行うものでありまして、この規約の第4条において会長及び副会長は神奈川県教科用図書足柄上採択地区協議会、以下「協議会」と称しますが、この協議会の会長と副会長を充てることとなっております。

この協議会の会長と副会長につきましては、5月19日に開催されました第1回の協議会において、会長には大井町の教育委員長 石井孝典 様に、副会長は南足柄市の教育長職務代理者 高橋善治 様に決定しているところでございますので御承知おきください。

4点目に、本日の会議は非公開で行うことについてです。お手元にお配りしてある資料の中に「神奈川県教科用図書足柄上採択地区の採択に係る会議の傍聴人規約」というものがございます。こちらの第5条第2号において「調査員に関する事案を扱うとき」は傍聴人を退場させる旨の規定がございます。本日の会議は全て調査員からの報告のみになりますので、本日の会議自体を非公開として扱うものでございます。

5点目に、開成町教育委員会委員の 相馬幸子 様が任期満了により退任され、7月より 上野由美 様が新しく委員となられましたので、第1回の協議会でお認めいただいております足柄上採択地区採択検討会の委員が変更になりますことを御連絡させていただきます。

最後、6点目ですが、本日の会議開催に関し、各市町のPTA代表の方に委員をお願いしているところですが、会議開催までの時間が限られていたことなどもあり、今回は簡易

な事務連絡で内容について通知させていただきましたので、御理解のほどよろしくお願
いたします。

それでは会議に入らせていただきます。

本日、採択検討委員43名、うち2名は御都合で欠席されており、41名の方に御出席
いただいております。検討会規約第7条第2項の規定によりまして、半数以上の出席があ
りますので、採択検討会が成立しましたことを報告いたします。

それでは、開会にあたり、石井孝典 会長より御挨拶を申し上げます。よろしくお願
します。

石井会長

皆さま、こんにちは。大井町教育委員会委員長の石井と申します。どうぞよろしくお願
いたします。

この度、九州北部では記録的な豪雨により、福岡県と大分県を中心に甚大な災害が発生
しており、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

一方、関東地方では7月に入ってから急激に気温が上昇しており、皆様、熱中症などに
より、くれぐれも体調を崩されないようお気をつけくださいませ。

さて、本日は平成30年度から小学校の正式な教科となる「特別の教科 道徳」の足柄
上採択地区採択検討会ということで、調査員の先生から調査結果の報告をいただきます。
この教科、初めての教科書採択ということで、皆様からもたくさんの御意見を頂戴し、慎
重に採択手続きを進めて参りたいと思います。どうか皆様の御協力のほど、よろしくお願
い申し上げます。

事務局（大井町教育委員会教育総務課長）

ありがとうございます。申し遅れましたが、本日、司会を務めさせていただきます大
井町教育委員会教育総務課長の石井でございます。どうぞよろしくお願いたします。

次に事務局、大井町教育委員会の田代より説明をさせていただきます。よろしくお願
いたします。

事務局（大井町教育委員会教育総務課田代）

皆さま、こんにちは。事務局を務めさせていただいております、大井町教育委員会教育
総務課の田代と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、本日の日程の説明と資料の確認をいたします。

これから調査報告を調査員責任者が行います。調査報告については、10～15分程度
の報告のあと、質疑応答の時間を設け、合計で30分程度の予定です。

次に資料の確認をいたします。まず机の上に本日の次第、採択検討会委員名簿、採択検討
会規約、会議の傍聴人規約、採択方針、調査員作成資料の「教科用図書調査票」をお配り

しております。過不足等ありませんでしょうか。会議の途中でもお気づきの点があれば、挙手等にてお知らせいただければと思います。なお、「教科用図書調査票」につきましては、教育長及び教育委員以外の方は、会議終了後に回収させていただきますのでよろしく願いいたします。以上です。

事務局（大井町教育委員会教育総務課長）

では、これより議事に入ります。議事進行は、会長をお願いすることになっていますので、石井会長お願いいたします。

議題（1）平成30・31年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について

石井会長

座ったまま失礼させていただきます。それでは議事に入ります。平成30・31年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書についてです。各市町での採択にあたっては、調査員の報告書等に加えまして、この場での採択検討会委員の皆さまの意見も合わせて参考にさせていただきたいと思いますので、特に教育委員以外の採択検討会委員の皆さまには、ぜひ積極的に御発言いただきたいと思います。

それでは責任者の方、入室をお願いいたします。

（調査員入室）

調査員責任者は開成小学校の松川先生です。それでは、道徳の調査結果についての説明をお願いいたします。

開成町立開成小学校 松川調査員

「特別の教科 道徳」教科書調査研究を担当させていただきました、先ほど御紹介いただいた開成小学校の松川と申します。よろしくお願いいたします。

まずもって、道徳の調査研究をさせていただきました事、調査員を代表いたしまして一言、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

それでは、これから御報告させていただきます。

まず、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領の関連につきましてですが、文部科学省の教科書検定を通過していることから、いずれも条文等を確実に踏まえた内容となっているということがございます。また神奈川県教育委員会の「調査研究の結果」におきましても、それらが踏まえられているということが示されております。私ども調査員も関連があるという事を確認したところがございます。このことを踏まえ、主に報告の中では「神奈

川教育ビジョンとの関連」について、「内容」について、「構成・分量・装丁」について、「表記・表現」についての、4項目について中心的に報告させていただきます。

では、初めに東京書籍について報告させていただきます。

まず、「神奈川教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、相手の立場に立って親切にすることや、命はかけがえのないものであり、大切にしていくことを考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連しまして、動物を守る取り組みや自然環境を守る取り組みが教材として取り上げられています。考えを広げ、社会に生かすことのできる内容となっております。

「内容」につきましては、2学年以上の巻頭に道徳の学習を進めるために、が取り上げられており、話し合いの約束が設けられ各学年で話し合いの留意点がまとめられております。また、問題解決的な学習に対応した教材、問題を見つけて考えるが3学年以上に掲載されており、情報モラル、安全、防災、いじめ問題等、内容が今日的な課題を捉えたものになっているのが特徴です。

「構成・分量・装丁」につきましては、自分の学びを振り返る欄や、未来の自分へのメッセージを記入する欄が設けられています。また、全学年において、内容項目の重点化が図られており、繰り返し学習ができるよう工夫がされています。

「表記・表現」につきましては、挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく、見やすいよう割り付けされています。

次に学校図書についてです。

「かながわ教育ビジョンとの関連」につきましては、「思いやる力」に関連して、相手への思いやる心について、生命を守るために努力する人々の姿から考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連して、震災後の生活のボランティア活動が教材として取り上げられています。

「内容」については、「読み物」の巻頭「道徳の学習を始めよう」に、学習の流れが示され、問題意識を持つこと、自分で考えること、話し合うこと等についても示されています。また、今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材が掲載され、安全・防災教育に関する資料も取り上げられています。別冊ノート『活動』の中で、内容項目ごとに「広げよう」が設けられ、児童の体験活動や発展的な学習が促されていることが特徴的です。

「構成・分量・装丁」については、『読み物』と『活動』に分けられており、別冊ノート『活動』には『読み物』についての問いや活動などが掲載されています。また、家庭との連携として、「保護者の方へ」が記載されています。

「表記・表現」については、挿絵などのカット、人物の写真が大きい等、効果的かつ見やすい工夫がされています。

次に教育出版です。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、周囲の人に分け隔てなく接することの大切さや、生命が多くの生命のつながりの中にあり、かけがえのないものであることを考える教材が取り上げられております。「社会とかかわる力」に関連して、他国に日本の農業を伝えることや、世界の困っている子どもへできることが教材として取り上げられています。

「内容」については、言語活動の充実を図るために、教材の終わりの「学びの手引き」に、話し合いの具体的な内容や自分の考えをまとめる活動が設けられております。また、国際理解や情報モラル等の教材、過去の偉人から様々な分野で活躍した偉人、現代で活躍されている方を取り上げた教材が豊富に掲載され、より多面的多角的に考えを持てる工夫がされているのが特徴です。

「構成・分量・装丁」については、巻末に「一年間の道徳の学習をふり返ろう」で、自分の学びを振り返り、次につなげていくための記入欄が設けられています。

「表記・表現」については、各教材の最初に、キーワードとなる言葉が示されています。

次に光村図書についてです。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、様々な状況下における思いやりの形があることや、心からの思いやりと親切について考える教材が取り上げられております。「社会とかかわる力」に関連して、地域清掃や地域の案内など、子どもたちのボランティア活動が教材として取り上げられております。

「内容」については、言語活動の充実を図るために、文章中に空欄を設け、登場人物の台詞を考える場面や自分の考えや気持ちを書く場面が設けられ、児童が考えやすくなる工夫が設けられています。情報モラル等の教材については3学年以上で掲載されており、いじめ問題についても「コラム」の中で教材を補完する内容が掲載されており、児童が問題に対して積極的に関わることのできるよう工夫がされていることが特徴と言えます。

「構成・分量・装丁」については、大きなまとまりごとに、学びの記録を書くページが設けられ、生活に活かしたことを記入することができるよう工夫されています。

「表記・表現」については、各教材の最初に、キーワードとなる言葉が示されています。

次に日本文教についてです。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、できることにはどんなことがあるのか、相手のために行う親切について考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連して、自ら地域行事に参加する姿、ボランティア活動に取り組む姿が、教材として取り上げられています。

「内容」については、巻頭に学年に応じて「話し合ってみよう」や「動いてみよう」、「書いてみよう」が設けられ、話し合いの仕方や役割演技の例、考えを書くときのポイントが

示されています。情報モラル等の教材については3学年以上で掲載されており、いじめ問題についても「いじめをなくすために」として、重点化されているのが特徴的と言えます。

「構成・分量・装丁」については、別冊ノートが全ての学年に付けられており、主発問、友達の考えの記入後に、テーマについて記入するよう、児童の考えに沿ったつくりになっています。また、これらは、学年の発達段階に応じたマスや行で区切られています。

「表記・表現」については、各教材の最初に、価値に迫るための導入部分の問いが示され、挿絵や写真などが効果的に掲載されています。

次に光文書院です。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、親切とおせっかいの違いについてや、自分たちがどのような人たちに支えられているのかを考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連して、社会奉仕活動、高齢者や下級生との交流など、児童により身近な教材が取り上げられています。

「内容」については、巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」において、考える方法や考えを深めていく方法について説明があり、具体的に「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」が設けられています。また、教材の間に「みんなでやってみよう」のタイトルで、友達との会話や協力してできる連想ゲーム、ロールプレイングを行う場面が設けられているのが特徴的と言えます。

「構成・分量・装丁」については、「学びの足あと」のページがあり、自分の学びを振り返り記録する欄が設けられています。

「表記・表現」については、各教材の最初に、価値に迫るための導入部分の問いが示され、教材文の下に、テーマについて考えるための手立て等が割り付けられています。

次に学研についてです。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、周りの人となかよく生きるために大切なこと、病気やけがと戦っている人の行動から命の大切さについて考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連して、東日本大震災後の復興に取り組む人々の教材が取り上げられています。

「内容」については、巻頭に「道徳の学習が始まるよ」が設けられ、語り合い、考えを練るために、見方や立場を変える、話し合う、表現することについて示されています。また、社会状況を反映した教材等が多く取り上げられており、多面的・多角的に考える工夫がなされています。さらに、最重点テーマとして「いのちの教育」「よりよく生きる」等、既習内容を定着させるために、教材を続けて取り上げられているのが特徴と言えます。

「構成・分量・装丁」については、調べたことや考えたこと等を記入する欄がいくつかの教材の中に設けられています。

「表記・表現」については、最後に内容項目別の一覧表が掲載され、文字の大きさや行

間等が大きく取ってあるなど、児童にとって見やすい工夫がされています。

最後に廣済堂あかつきについてです。

「かながわ教育ビジョンとの関連」についてです。「思いやる力」に関連して、生命の尊さや、だれにでも親切にすることの大切さについて考える教材が取り上げられています。「社会とかかわる力」に関連して、東日本大震災や阪神淡路大震災のボランティア活動が教材として取り上げられています。

「内容」については、巻頭に「道徳の時間はこんな時間」が設けられ、意見の伝え方、聞き方、話し合い方等についていわゆる学び方の説明があり、教材文の終わりには「考えよう 話し合おう」が設けられ、価値に迫るための問いが記載されています。また、名作と言われる教材から、今日的な課題を含む新しい教材まで、問題解決を促し、体験的な学習を構築できる、多様な教材が掲載されているのが特徴的です。

「構成・分量・装丁」については、別冊ノートが全学年に付けられ、自分が考えたこと、友達の考えなどを記録する欄があり、学年の発達段階に応じたマスや行で設けられています。さらに巻末には、折り込みとして自分を振り返るページ「心のしおり」も設けられています。

「表記・表現」については、各教材の最初に、キーワードとなる言葉が示されています。

以上で、「特別の教科 道徳」の報告を終わりにさせていただきます。質疑の方、よろしくお願いたします。

石井会長

ただいま、調査員責任者から説明がありました。調査結果について、御質問等がございましたら、恐れ入りますが、挙手の上、お名前を教えてください。よろしくお願いたします。

南足柄市教育委員会 山田委員

南足柄市教育委員会の山田仁美と申します。今日は本当にご苦勞様です。ちょっと気になるところは、今回、道徳を教科としなければならないのですが、評価しやすいために、サブノートの活用があるのかなと考えたのですが、そういったところを先生方がどういうふうに捉えられたか、御意見があったかを聞かせてください。

開成町立開成小学校 松川調査員

御質問ありがとうございます。いわゆるサブノート、別冊ノートという言い方をしていると思いますが、実は別冊ノートが取り上げられているのは、3社ございました。学校図書、日本文教、あかつきの3社だったのですが、それぞれにかなり特徴があったように感

じております。日本文教はいわゆる別冊ノートが教材とリンクした形のノートとなっており、1時間の流れの中で子ども達に伝えていくことができるような形をとっており、1時間の流れとしては非常に使いやすいのかなと考えております。評価をする側の立場から見ても、同様のことを感じるのではないかと私達は検討しておりました。学校図書の本冊ですが、教材とリンクではなくて、価値項目とのリンクでしたので、いくつかの価値を勉強した後に、ノートを記載していくという形でありました。あかつきも大体同様の使い方、教材のリンクというより価値とのリンクでしたので、いくつかまとめて記載をしていくものと、教材ごとに記載をしていくというタイプと2パターンあったように私達は分析しました。

石井会長

よろしいでしょうか。

南足柄市教育委員会 山田委員

ありがとうございました。評価の時にノートを先生方が見られたら、後からこの子は発言しなかったが、こんな風に考えていたんだなという部分が見られるのではないかなと、意見をいう子と意見を言わない子のきちんとした評価の点で、ノートの活用は重要ではないかと感じております。ありがとうございました。

石井会長

他に質問はございますでしょうか。

大井町教育委員会 夏苺教育長

大井町教育委員会の夏苺です。今のご質問に関連するのですが、現在、道徳をやっている中では、たぶんノートを各人に渡して使っているのかなと思うところと、実際、どのような状況が一般的なのかを教えてください。また、併せて評価というところに関して、どのような取り組みをされているかというところを、わかれば教えてくださいと思います。

開成町立開成小学校 松川調査員

ノートについての御質問いただきましてありがとうございます。授業の中でのノートの取り扱いについて、子ども達がどのように考えを書いていくかについては、ノート型いわゆる一枚のものを綴じてあるようなものを配付で、ほとんどの学校が学習を進めていると思います。ほとんどの先生が活用されているのはプリントをA4のもの1枚に起こして、価値について記載をしていく内容であるとか、その後の自分の生活について記載をしてい

くものであるとか、先生たちが工夫をされて価値、教材ごとにプリントを作って、ファイリングしながら、多面的に評価をしているものではないかと思います。その場その場の発言とか考えではなく、1年を通した育ちの中で、どの程度、道徳的な価値が実践力として身についたかということの評価していかなければならないと思うので、例えば夏休み前の区切りであったり、前期後期の区切りの場面で、子ども達の評価を見ながら、ノートを中心にしながら、発言を振り返りながら、先生方は評価をしているのではないかと思います。

石井会長

よろしいでしょうか。他にはいかがですか。

山北町教育委員会 石田教育長

山北町教育委員会の石田です。先ほどの説明の中に8社の色々な特徴が述べられていたところですが、そういった中で、教科書によっては導入が提示されていたとか、発問がかなりページにあったとか、かなり教科書によって差があったように思うのですが、そのところで調査員からは、どういった感想や意見とか使いやすさとかの意見が出されたのか、お聞きしたいと思います。

開成町立開成小学校 松川調査員

教科書の中に発問が記載されているものがかなりありまして、学年によっても記載されている学年とそうでない学年があったりして、一概にどの教科書がこうというのは言えないのですが、先生方の使い勝手を考えると、発問の仕方も、記載の仕方もあると思うのですが、これについて考えてみようと、そのものズバリが書かれていると、それを読んだ子ども達は、これについて考えればいいんだと先読みできる子はたぶん考えると思います。それを使いやすいと捉える先生と、そうではなくて、先生が発問をすることによって子ども達がそれを受けとめて、考えを広げていったり深めたりすると感じている先生方にとっては非常に使いにくいのかなと感じます。教科書の文章の中で、それについて考えてみようと記載されているものもあれば、これについてはどう考えますか、あなたはどのように思いますかというふうに問いかけもあったりするし、ずいぶん違うなと思いました。特徴的なところで言うと、あかつきの教科書はかなり断定的に、これについて考えてみましょう等、断定的にいわれている部分が沢山ありました。非常に印象的だったのは、いじめは良くないことです、あなたはいじめについて考えてみましょうとズバリ導入部分で書いてあるようなところもあったので、それを使いやすいかどうかと捉えるのは一概には言えないのかなと感じています。

石井委員長

よろしいでしょうか。

開成町教育委員会 鳥海教育長

開成町の鳥海です。今日はありがとうございます。一つお伺いしたいのは、資料の出し方の中で実話を用いているもの、偉人の伝記を用いているもの、物語を用いているものが各社色々、特徴があると思うのですが、調査員の中では、実話がいいのか、伝記がいいのか、物語がいいのか、その辺の話題がどうであったのかお聞きしたいと思います。

開成町立開成小学校 松川調査員

御質問ありがとうございます。いわゆるエピソードのトータル的な話を、私達の中でも話をしておりまして、それぞれに対しての、例えば実話がいいのかというような御質問のあった内容についての話は直接していませんが、分析はさせていただきました。例えば一番多いものと、実話、エピソード、人間の生き方を捉えたもので6学年37人という会社がありました。一番少ないものと、18人で倍近くの差があり、教科書会社の中でも随分と差があるなど分析させていただいたところです。おおよそ22～23、24人位が平均ではないかと考えます。

私達、調査員が非常にびっくりしたのが、1年生の学年の中でも歴史的な偉人であるとか、スポーツ関連の方であるとか、障害をかかえていられる方であるとか、特にオリンピックが近いこともあり、オリンピックの記載が非常に多かったという印象がありますが、1年生の中にも偉人の掲載されている教科書会社が、8社中6社が掲載されておりました。私達がそれを良しと捉えるか、使いづらいかと捉えるのかは難しいのですが、中身を分析してみますと歴史的偉人と呼ばれる方、スポーツ界の方、名工いわゆる匠と呼ばれる人、障害をかかえている人のエピソード、漫画家、画家、科学者、作家、ノーベル賞の授賞者など、多岐にわたる分野ではあるのですが、現代に生きていらっしゃる方の掲載が沢山あったというのが、私達の調査結果でした。

石井会長

よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

中井町教育委員会 岸職務代理者

中井町の岸と申します。今日はありがとうございます。一つ御質問させていただきたいのですが、今、御説明いただいた8社の資料を見させていただくと、道徳の時間は年間35コマですよね。その35コマを意識して、ほとんどの出版社が35コマで収まるよう構成されているんですけども、中には22プラス補習、或いは30プラス補習でといった出版社も、やや見受けられるんですけども、先生方が調査をされている中で、35よりも多いというところと、要するに1日で消化出来なくなってしまうよね。その辺は御意見としてどんな形の御意見があったか教えていただけますか。

開成町立開成小学校 松川調査員

次年度以降、年間計画書を計画していくにあたって、年間35時間を確保して計画していくわけですが、光文書院は35プラス5ということでオーバー分が掲載されています。補充教材という名前で掲載がされているわけですが、その内容を見ていきますと、いわゆる名作といわれるものが結構、補充教材の中に残ってしまっていて、先生方の中には、この教材を通じて子ども達に考えさせてみたいと思わせるようなものも沢山あったというのも事実としてありました。通常であれば、35あればいいと私達調査員も思っていたのですが、まさかプラス5があるとは思っていませんでした。プラス5の扱いについては、それぞれの先生方の受け止め方もあると思うのですが、1年間の流れの中で、年間計画書を組んでいくにあたって、プラスして教材として扱ったほうがいいと思えるようなもの、そういった扱いで、考えていくしかないのではないかなと思います。プラスとして新たにするという考え方ではなくて、例えば生命尊重について勉強を深めました、そこについて子ども達に、この教材を読ませてみたいと思うような補充的なもの、発展的なものとして捉えていくしかないのではないかと、私達は分析しました。以上です。

石井会長

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

全委員

なし（特になし）

石井会長

松川先生、報告ありがとうございました。

それでは、御退室ください。

（調査員退室）

課題（2） その他

石井会長

それでは、その他についてですが、事務局から何かありますか。

事務局（大井町教育委員会教育総務課長）

それでは今後の予定についてお伝えさせていただきます。7月27日（木）午前10時30分より大井町役場3階301会議室にて、足柄上採択地区協議会（第2回）を開催い

たします。後日、正式に文書で依頼させていただきますが、1市5町の教育委員長、教育長、教育長職務代理者、担当課長等の御出席をお願いいたします。

各教育委員会においては、7月25日（火）17時までに、希望する教科書を決定していただき、事務局へ連絡くださいますようお願いいたします。提出様式につきましては、後日メールでお送りさせていただきます。

教育委員の皆様方におかれましては、今後の各市町の教育委員会での採択が必要となりますので、本日の資料をお持ち帰りください。なお、教育長及び教育委員以外の皆様におかれましては、本日の資料の中で、教科別教科書調査票（調査委員作成資料）につきましては回収させていただきますので、机の上に置いたまま御退出いただきますようお願いいたします。よろしくをお願いいたします。事務局からは以上でございます。

石井会長

それでは他に委員の方から何か御質問等はございますでしょうか。

全員

なし

石井会長

それでは、これで本日の議題すべて終了いたしましたので、最後に副会長からごあいさつをお願いします。

高橋副会長

大変暑い中でございますけれども、地区の採択検討会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。調査にあられました先生方につきましては、学校行事等、大変お忙しい中、資料を御用意いただきましてお礼申し上げたいと思います。

なお、今日も各市町の教育委員会では、まだいくつかの作業が残っております。最終的に上地区の児童のために道徳の教科書の採択について検討をし、良いものが得られるようにできればそんなことをお願いしながら閉会の言葉とさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

事務局（大井町教育委員会教育総務課長）

会長、副会長ありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。本日はお暑い中、御出席いただきありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。